

1996年12月大晦日の仕事を終え 初日の出を見るためバイク仲間と高速道路を走行中、轍にハンドルを取られ転倒 上半身18箇所の骨折、3ヶ月の入院と6ヶ月のリハビリを体験。もう鉄は握れない、美容師を諦めざるを得ない思いでした。

入院先で週に一度看護師さんがチョンマゲスタイルの長髪を丁寧に洗ってくれましたが前かがみの姿勢は骨折のため踏ん張りが利かず、頭が左右に揺れて苦痛の連続でした。自分がその立場になり痛感し、病気や怪我で入院・療養の方のお気持ちが良くわかりました。

退院後、6ヶ月のリハビリ中に訪問理美容の必要性を感じ、怪我や病気・高齢者に優しい洗髪の方法は無いものかと試行錯誤を繰り返し、「ヘッドスパ&マッサージケアシャンプー」を考案。この技術を生かせる洗髪台の開発に取り組む 1年後初期型楽シャン君完成 特許申請 2002年特許取得

2006年「ニュー楽シャン君」完成販売を開始

楽シャン君の自作を始める



幼年期竹ひごで作ったゴム飛行機を思い出しながら試行錯誤の繰り返しで何とか形に



カメラの三脚を改造してシャンプーボール部位の固定 首に負担のかからないように工夫も忘れずに



手作りのシャンプーボールを基本にして金型を作成して商品化を実現 自然体で腰に負担を掛けない



洗う人、洗われる人も負担を少なく。チョッとシックな感じに！ 両方のキャリーバックも揃えています